

『たちんぼ くトリニチンポロン』

サンプル(挿絵無し・途中まで)

【タイトル挿絵】

□1

CG集では『俺』で通していたが俺の名は、鬼頭三郎(きとう さぶろう)。今年で32歳になるフリーターだ。

タバコが好きで、休憩の時はいつも5本は吸っている。それどころか勤務中も口が寂しくて禁煙パイプやアメを啣(くわ)えている事からバイト仲間からは三郎をもじって『しゃぶろう』とアダ名を付けられてしまった。……『きとう しゃぶろう』なんとも下品なアダ名前だ。

そんなアレな名前に負けず俺は自分が変態だと思っている。なぜそんな事をしているかという一言で言ってしまうえば『キャラ作り』が始まりだった。中学生の頃にクラスで影が薄かった俺は自分にキャラ設定を持つとうと思ひ、行き着いたのが変態キャラだった……。それが今度は何歳になっても抜け出せず、とうとう性根からの変態になってしまった。

中学生の俺は変態になる為に様々な努力をした。クラスの女子の机の上に排便を試してみたり、近所の動物をオカズにオナニーをしてみたりと、自分に合う性癖を追求した。そして今でブームになっている事が『去勢された風俗嬢が相手をする店』だ。

□2

この店の変わっている所は週末しか営業していない所で、試しにバイトが休みの日に店に行ってみた所、やはり月曜から金曜は完全に閉まっている。代わりに、風俗店のあるテナントビルの上の店で風俗店の店員が働いているのを見た事がある。どうやらこのビル全体が、あの店の持ち物のようだった。

そう言えばあの店のマネージャーは見た事があるがオーナーらしき人物を見た事が無い。オーナーが表社会の間人ではないのか、それとも実はランチサイズで他にも去勢嬢の店があり本部がどこかに存在してるとか……？

そして最大の謎は、去勢嬢達の姿を店以外で全く見ない事だ。一体普段はどこで何をしているのだろうか……？

□3

週末――。

俺は再び来店した。

もう何度か通っているので店員とも顔馴染みだ。今日はパチで勝って小金があるので、前からやろうと思っていたアレをやるうと思ふ。

そう、複数指名でのプレイ。

